

資料1 東広島市環境審議会 で得られた意見・提言等への対応

平成29年度第1回

東広島市環境審議会

No.	内容	意見・提言等	対応・対応方針等
1	環境基本計画 重点プロジェクト (2件)	重点プロジェクトの取り組み1や2はボランティア的な面、仲間的な活動という形に思える。ステップ3になると事業的な面がなくてはならないように思えるが、ステップ3をどのように進めていくかを考えていくべきなのでは。	平成29年度の新規事業である「ひがしひろしまこどもエコ探検隊」は、子どもたちが、市の様々な環境について学び考えるもので、環境リーダーの方々に講師としてご協力いただき、ステップ3の1つである「環境リーダーの育成と派遣」につながるものと考えております。 このように、市の事業として進めていけるものについては、今後も検討していきたいと考えています。
		地域間のネットワーク化を図るために、各メンバーを集めるのも一つの手であると思う。そうすればプロジェクトの3にも上がってくるのではないか。	現在、市が主導で各地域や団体から人を集めて話し合いをするようなことは考えておりません。まずは、市が個々の地域や団体と話をさせていただき、連携するメリットがあると考えられる場合には、その橋渡しをしていきたいと考えています。
2	課題への対応	環境の取組みを報告する上で出た課題について、具体的にどう進めていくのか提案出しや議論はしているのか。	審議会等でいただいているご意見、ご提言等は関係課にフィードバックして、関係課へは対応方針等を示すように求め、課題解決に向け、対応方針等について協議・検討に努めていきます。
3	情報 (5件)	市民に伝えたい情報の周知方法を考えていかなければならないのではないか。	現在、市ではホームページや市の広報紙を活用し、また情報の内容によっては市のフェイスブックを利用するよう情報発信の工夫をしていますが、情報伝達については不十分であることは認識しております。 今後は、地域センター等へ行って情報を収集する中で、より適切で効果的な周知方法について意見を聞きながら、情報の発信、情報の伝達方法について改善していきたいと考えています。
		行政から環境活動をフェイスブックにより情報発信していくのはどうか。	フェイスブックの利用についてですが、本市のフェイスブックは全ての課が使用しており、環境に関する情報を全てフェイスブックから発信するとすると、情報量が莫大になってしまうため、情報量について整理しないとイケません。フェイスブックを活用する際には、イベント案内に絞るなど整理して、若い世代へも情報が十分伝わるように、発信していきたいと考えています。
		いつ、どこで、どういうイベントがあるのかイベント情報について一覧で体系的に分かる情報発信が必要ではないか。	イベントスケジュールを管理できるようになるには、頻繁に市内全域から情報収集をしなければならないと考えており、収集方法については今後の検討課題として考えています。
		インターネットやSNSを使わない人への情報発信はどう考えているのか。	インターネットやSNSを使わない人や年配の方に情報が届きやすいように多くの広報手段を活用し、情報を伝えたい対象者が限られている場合には、その対象者が目にしやすいツールを重点的に活用するなど、効果的に情報発信していくことを考えています。
		環境活動に対しての問い合わせに、インターネット上のフォーム形式を活用するなどして、多種多様な媒体での連絡手段があった方が良いのではないか。	環境リーダーや出前講座の申し込みや問い合わせがしやすいように、市のホームページ上から電子申請ができるようにします。
4	市民間の情報共有 (2件)	環境活動のコンセンサスを得るためには、ある程度の情報について共通点をもって進めていくと、物事がうまく進むのではないか。	全ての地域を一度に会してコンセンサスを得ることは難しいですが、環境活動の情報を収集していく中で、地域間で連携ができそうな取り組みがあれば、市から働きかけて、地域間で共通点を持つ機会になるよう橋渡しをしていきたいと考えています。
		環境活動はネットワークの構築が難しいと感じる。各プロジェクトの大きな木を構築していくためには、情報交換を重ねてコンセンサスを得ることが大事なのではないか。	環境基本計画の重点プロジェクトは本計画の中でもシンボリックな取り組みとして位置付けているおり、常に重点プロジェクトを推進することを意識しながら、これを大きな木として、市・市民・事業者間の情報交換が図れるような仕組みづくりに努めて参りたいと考えています。
5	若い力の活用	各地域においては、環境活動に携わる人達も高齢化とともに人材が足りなくなってきた。若い人を地域で繋いでいくことはこれから大事なこともかもしれないのではないか。	若い人を繋ぐことについては、すでに広島大学の学生が河内町や福富町で地域の方と一緒に様々な活動をされている事例があり、これらの活動は数年前から始まっていて、代々後輩に受け継がれているようです。 これらの事例を当課が作成している「東広島市の環境活動(環境活動事例集)」に掲載して、このような事例が増えるように、学生の活動の情報発信に積極的に取り組んで行きたいと考えています。
6	行政との関わり	重点プロジェクトは、個別の取り組みを市の取り組みに繋げていくということだと思ふ。この繋ぐという仕組みを市の方で仕掛けづくりをしてもらい、良い取り組みは市の方で情報発信していくよう検討してもらいたい。	これまで、活動のきっかけ作り「東広島市の環境活動(環境活動事例集)」という冊子を通じて、情報発信してきましたが、今後は、この冊子を作成していく過程で重点プロジェクトを発展させる可能性について再度考察し、市として、どのような橋渡しができるのか、また、仕掛けづくりをしていけばよいか、仕組みを検討していきたいと考えています。